



こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団ニュース

発行 日本共産党高知県議団

編集 細木 良

No.745

2024年6月9・16日

県議会控室 823-9524

ファックス 823-9075

携帯090-8972-1478

高知市介良乙3668-11

高知県人口減少対策総合交付金について

高知県は34歳以下の人口が直近10年間で約2割減少、年間出生数が30人未満の市町村が20市町村にのぼるなど深刻化する人口減少の対策のため、地域の実情にあわせ実施する人口減少対策を支援する目的で、年10億円（4年間40億円予定）の予算を計上しています。

「基本配分型」（4億円）と連携加算型（6億円）

基本配分型では、移住定住促進のための引っ越し費用補助（高知市）、空き家調査・活用調査（土佐市）、高校生への通学助成（北川村）、結婚・出会い支援（安芸市、土佐町）、こども医療費助成（高知市ほか9市町村）、学校給食費助成（土佐清水市ほか5町村）、保育料無償化（宿毛市・芸西村）など活用されています。

「連携加算型」は19市町村が活用見込み

連携加算型については、県施策と連携する取り組みや市町村が独自で実施する事業への支援が要件となっており、現在34市町村のうち19市町村が活用見込みであることが5月22日に行われた中山間総合対策本部会議で報告されました。

今年新設となった総合企画部中山間地域対策課は、毎月市町村からの提案を審査し、積極的に予算を活用してほしいと市町村への支援を行っているとのこと。

1回目の審査会で認められたのは以下の3件です。

- 転入世帯への住宅新築奨励金（土佐市）
- サーフィンを活用した移住促進、特定地域づくり協同組合事業拡大など（東洋町）

- ひとり親世帯の移住促進、出会い仲介（馬路村）

*交付金の制度設計、移住定住施策など人口減少対策について6月21日から始まる県議会で取り上げます。

細木りょうの“まいゆう日誌”

○（写真左）6月1日、高知が生んだプロレタリア詩人「榎村浩」の生誕祭が城西公園で行われました。代表作「生ける銃架」の朗読も行われました。

○（写真中）5月26日、高知県総合防災訓練が香南市ポリテクカレッジをメイン会場として開催。能登半島地震を踏まえた緊急物資搬送訓練やヘリコプターによる医療支援チームの搬送などの訓練が行われました。また会場では地域防災フェスティバルも併せて開催され、楽しく防災を学ぶコーナーでは多くの親子連れなどが体験していました。

○（写真右）5月25日、核兵器廃絶を訴える「国民平和行進」に参加。高知市中心市街地から丸の内緑地まで歩きました。集会では通し参加されている東京都の男性や青年などが核廃絶の思いをスピーチしました。

●5月25日、憲法9条を守る草の根組織「高知市東部9条の会」で特定利用港湾問題について報告させていただきました。県の「合意」撤回を求める請願署名へのご協力をぜひお願いします！

●5月26日、長浜集会所で県・市議会報告会が開催されました。双方向型で地域のみなさんからいろんなご意見を伺う貴重な機会です。避難路・避難場所整備、公共交通、農林業振興などのご意見をいただきました。今後の議会活動で取り組んでいきます。*議会報告会のご希望あればご連絡ください。



はみだしヴォイス 6月3日早朝、能登半島では大きな余震が観測されました。復興が思うように進まない中、避難生活を送られている皆さんもさぞ不安だったと思います。早めに現地入りし、被災地の聞き取り調査等行きたいと思っています。